

地域包括支援センターの自己評価の結果報告について

(1) 自己評価の目的

地域包括支援センター（以下「包括」という。）の運営に当たり、市及び包括が包括の人員体制及び業務の状況について、「地域包括支援センターの事業評価を通じた機能強化について（厚生労働省通知）」に基づく、全国統一の評価指標による包括の自己評価を行う。また、包括の機能強化のために市との連携強化が欠かせないことから、市の包括への関わりについても評価を行い、地域包括ケアシステムの深化に向けた取組を推進する。また適切な人員体制の確保や業務の重点化・効率化を進め、包括の機能強化を図る。

(2) 自己評価の内容

厚生労働省策定「市町村及び地域包括支援センターの評価指標」に基づく、運営状況調査票の該当項目選択式。

なお、基幹型包括の評価指標は「市町村及び地域包括支援センターの評価指標」及び「刈谷市基幹型地域包括支援センター運営事業業務委託仕様書」を参考に、市が独自で策定。

評価指標	評価項目数	
	包括	市
1 組織運営体制等 包括が提供すべきサービスを提供できる体制整備	19	19
2-(1)総合相談支援 地域の高齢者の総合相談、サービス等の利用支援等	6	6
2-(2)権利擁護 虐待対応、成年後見制度の紹介、詐欺被害対応等の権利侵害の予防や対応、権利行使の支援	5	4
2-(3)包括的・継続的ケアマネジメント支援 包括的、持続的なケアマネジメントの提供を行うための介護支援専門員への支援等	6	6
2-(4)地域ケア会議 高齢者を取り巻く地域課題を明確にし、地域包括ケアシステム構築に繋げる会議の運営等	9	13
2-(5)介護予防ケアマネジメント・介護予防支援 要支援者や事業対象者のサービス利用支援	5	6
3 事業間連携（社会保障充実分事業） 在宅医療介護連携推進事業、認知症初期集中支援チーム、生活支援体制整備事業の取組	5	5
合計	55	59

(3) 自己評価対象

対象年度：令和5年度（令和5年4月から令和6年3月まで）

対象包括：富士松包括、雁が音包括、中部包括、中央包括、依佐美包括、朝日包括、基幹型包括

(4) 評価方法

- ① 包括内で協議の上、調査票の項目ごとに該当欄に「○」をつける。
併行して、市の包括への関わりについて内部で協議の上、調査票の項目ごとに該当欄に「○」をつける。
- ② 調査票に記入された情報を基に、長寿課職員によるヒアリングを実施する。
- ③ 市及び包括が評価を調査票へ記入し、愛知県を通じて厚生労働省へ報告する。
- ④ 各包括で前年度評価と比較し、分析した結果を懇話会（地域包括支援センター運営協議会）に報告する。
- ⑤ 各包括に、懇話会での報告内容をフィードバックする。
※ 基幹型包括は②まで実施

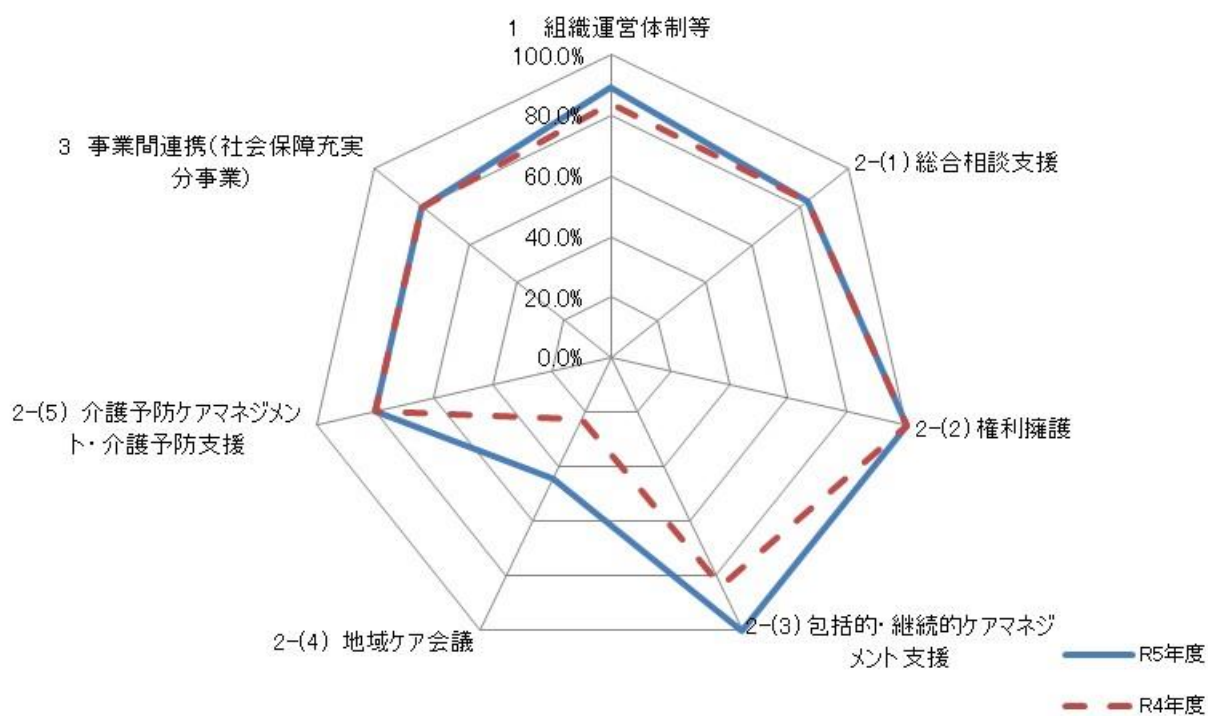
(5) 自己評価結果

次ページ以降に各地域包括支援センター、市の自己評価結果を記載。

1 富士松包括

評価指標		富士松 令和5年度	富士松 令和4年度
1	1 組織運営体制等	89.5%	84.2%
2	2-(1) 総合相談支援	83.3%	83.3%
3	2-(2) 権利擁護	100.0%	100.0%
4	2-(3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援	100.0%	83.3%
5	2-(4) 地域ケア会議	44.4%	22.2%
6	2-(5) 介護予防ケアマネジメント・ 介護予防支援	80.0%	80.0%
7	3 事業間連携（社会保障充実分事業）	80.0%	80.0%

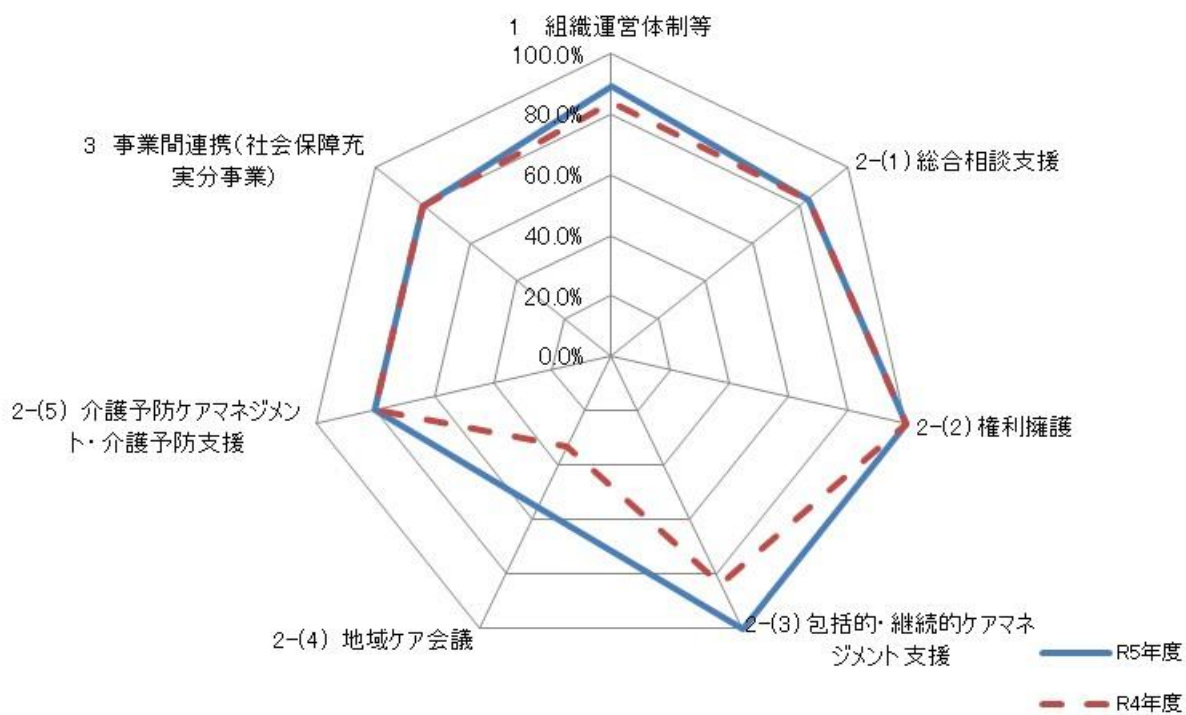
令和5年度自己評価（前年度と比較）



2 雁が音包括

評価指標		雁が音 令和5年度	雁が音 令和4年度
1	1 組織運営体制等	89.5%	84.2%
2	2-(1) 総合相談支援	83.3%	83.3%
3	2-(2) 権利擁護	100.0%	100.0%
4	2-(3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援	100.0%	83.3%
5	2-(4) 地域ケア会議	55.6%	33.3%
6	2-(5) 介護予防ケアマネジメント・ 介護予防支援	80.0%	80.0%
7	3 事業間連携（社会保障充実分事業）	80.0%	80.0%

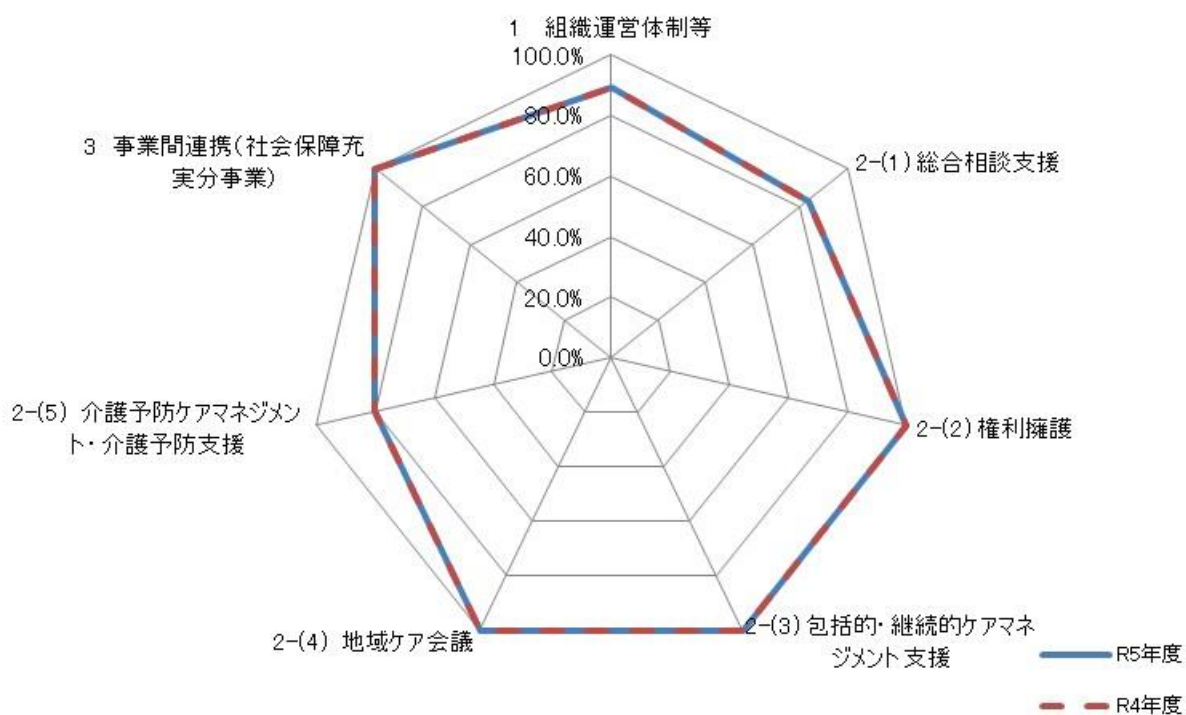
令和5年度自己評価（前年度と比較）



3 中部包括

評価指標		中部 令和5年度	中部 令和4年度
1	1 組織運営体制等	89.5%	89.5%
2	2-(1) 総合相談支援	83.3%	83.3%
3	2-(2) 権利擁護	100.0%	100.0%
4	2-(3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援	100.0%	100.0%
5	2-(4) 地域ケア会議	100.0%	100.0%
6	2-(5) 介護予防ケアマネジメント・ 介護予防支援	80.0%	80.0%
7	3 事業間連携（社会保障充実分事業）	100.0%	100.0%

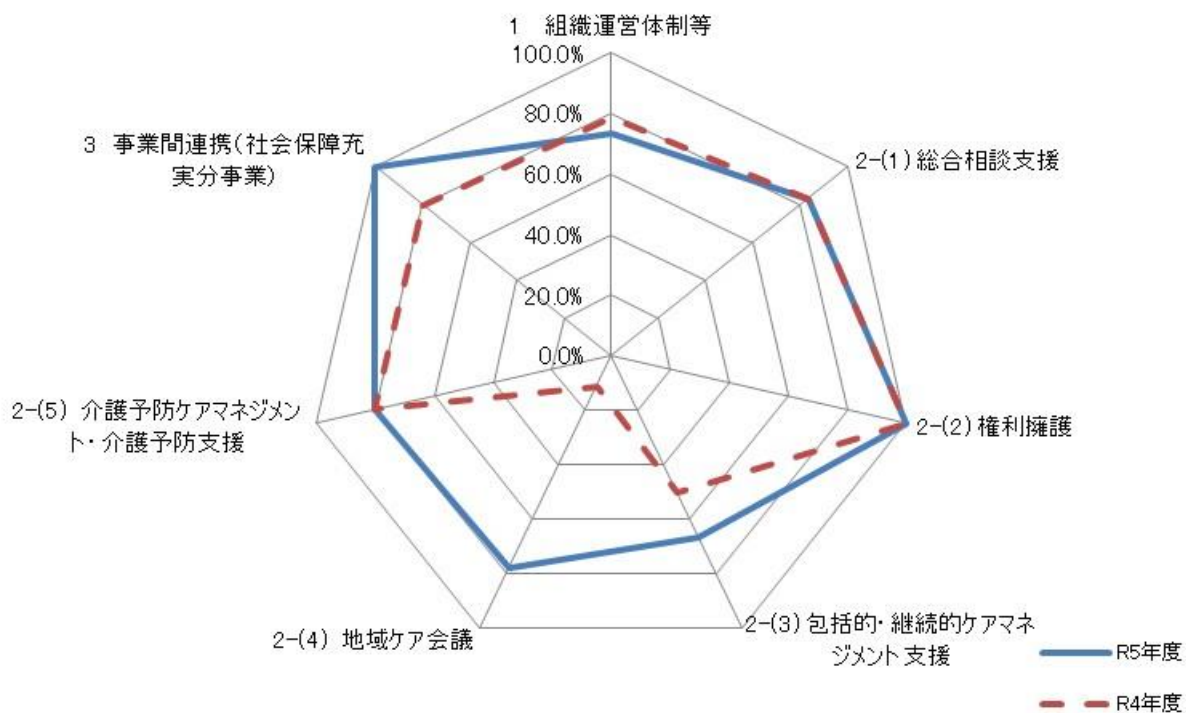
令和5年度自己評価（前年度と比較）



4 中央包括

評価指標		中央 令和5年度	中央 令和4年度
1	1 組織運営体制等	73.7%	78.9%
2	2-(1) 総合相談支援	83.3%	83.3%
3	2-(2) 権利擁護	100.0%	100.0%
4	2-(3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援	66.7%	50.0%
5	2-(4) 地域ケア会議	77.8%	11.1%
6	2-(5) 介護予防ケアマネジメント・ 介護予防支援	80.0%	80.0%
7	3 事業間連携（社会保障充実分事業）	100.0%	80.0%

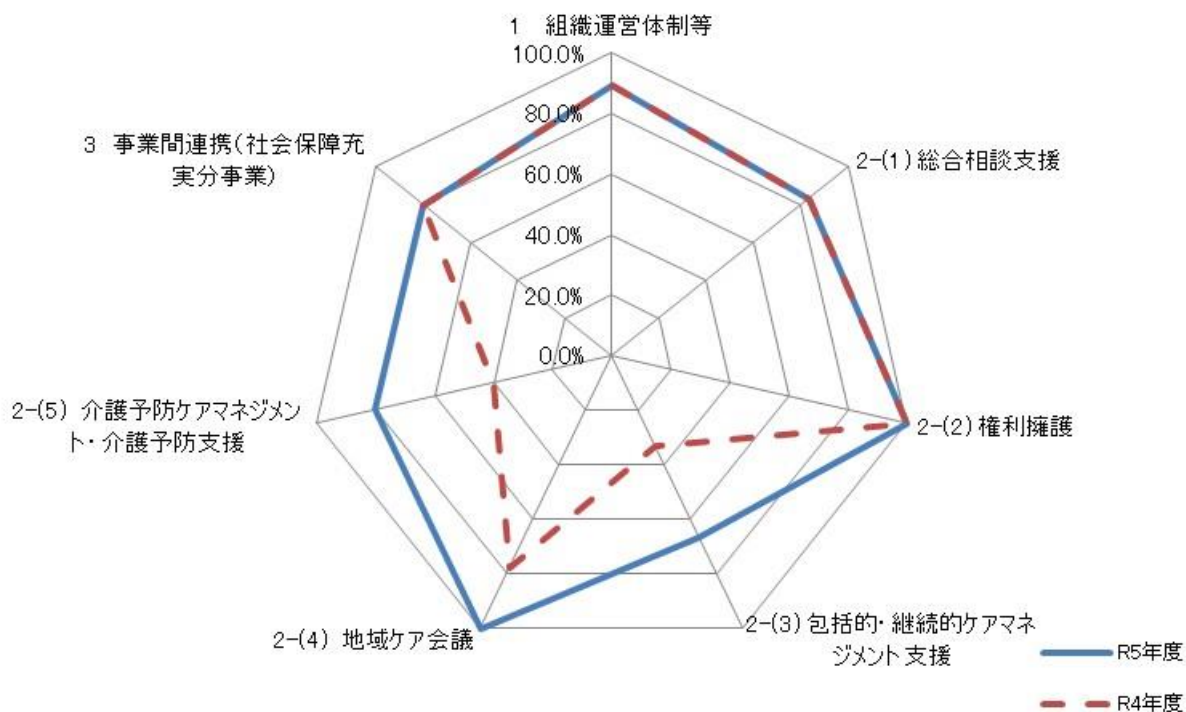
令和5年度自己評価（前年度と比較）



5 依佐美包括

評価指標		依佐美 令和5年度	依佐美 令和4年度
1	1 組織運営体制等	89.5%	89.5%
2	2-(1) 総合相談支援	83.3%	83.3%
3	2-(2) 権利擁護	100.0%	100.0%
4	2-(3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援	66.7%	33.3%
5	2-(4) 地域ケア会議	100.0%	77.8%
6	2-(5) 介護予防ケアマネジメント・ 介護予防支援	80.0%	40.0%
7	3 事業間連携（社会保障充実分事業）	80.0%	80.0%

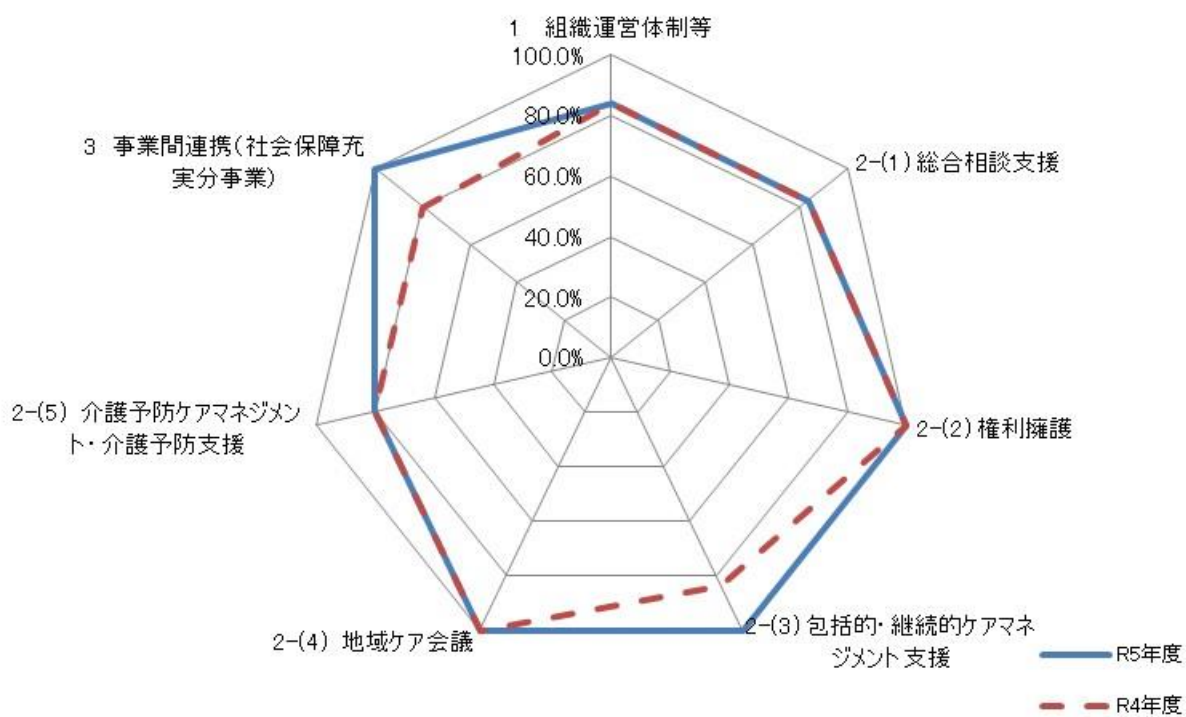
令和5年度自己評価（前年度と比較）



6 朝日包括

評価指標		朝日 令和5年度	朝日 令和4年度
1	1 組織運営体制等	84.2%	84.2%
2	2-(1) 総合相談支援	83.3%	83.3%
3	2-(2) 権利擁護	100.0%	100.0%
4	2-(3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援	100.0%	83.3%
5	2-(4) 地域ケア会議	100.0%	100.0%
6	2-(5) 介護予防ケアマネジメント・ 介護予防支援	80.0%	80.0%
7	3 事業間連携（社会保障充実分事業）	100.0%	80.0%

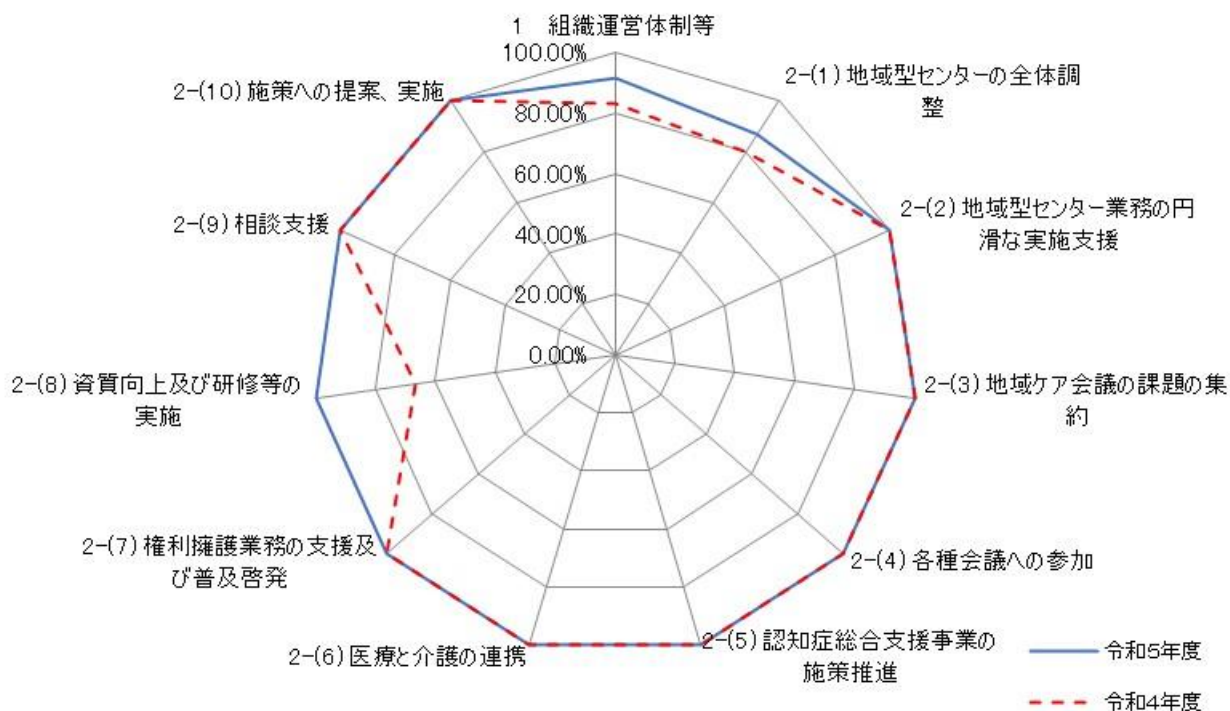
令和5年度自己評価（前年度と比較）



7 基幹型包括

評価指標		評価項目数 回答内容が(－) は除く	刈谷市 令和5年度	刈谷市 令和4年度
1	1 組織運営体制等	12	91.7%	83.3%
2	2-(1) 地域型センターの全体調整	15	86.7%	80.0%
3	2-(2) 地域型センター業務の円滑な実施支援	14	100.0%	100.0%
4	2-(3) 地域ケア会議の課題の集約	2	100.0%	100.0%
5	2-(4) 各種会議への参加	2	100.0%	100.0%
6	2-(5) 認知症総合支援事業の施策推進	1	100.0%	100.0%
7	2-(6) 医療と介護の連携	2	100.0%	100.0%
8	2-(7) 権利擁護業務の支援及び普及啓発	3	100.0%	100.0%
9	2-(8) 資質向上及び研修等の実施	3	100.0%	66.7%
10	2-(9) 相談支援	2	100.0%	100.0%
11	2-(10) 施策への提案、実施	1	100.0%	100.0%

令和5年度自己評価



8 刈谷市（保険者）

評価指標		刈谷市 令和5年度	刈谷市 令和4年度
1	1 組織運営体制等	84.2%	84.2%
2	2-(1) 総合相談支援	83.3%	83.3%
3	2-(2) 権利擁護	100.0%	100.0%
4	2-(3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援	66.7%	50.0%
5	2-(4) 地域ケア会議	53.8%	46.2%
6	2-(5) 介護予防ケアマネジメント・ 介護予防支援	83.3%	83.3%
7	3 事業間連携（社会保障充実分事業）	100.0%	100.0%

令和5年度自己評価（前年度と比較）

